No.103 SIDE

あなせ

更加

11

1

<

随筆随談選集 ⑥

人生をめくる40の話

## 最新 BEST

公印は初登場!!

2004.3.1~3.31 TTCネットワーク月間データ

「学参を除く小社全書籍の売れ数)

		the state of the s			
11/	書名	著者名	本体	配本日	前月順
seg:	自分の仕事をつくる	西村 佳哲	1900円	03.9.30	1
\$ 2	2 笛にうかれて逆立ちすれば	小沢 昭一	2400円	04.2.27	New
	3 ヒーリング・キャット	葉 祥明	1500円	04.1.30	2
4	4 ぼくたちの七〇年代	高平 哲郎	1700円	04.1.23	4
1 5	6 絹靴下殺人事件	バークリー	2200円	04.2.25	11
6	がんから始まる	岸本 葉子	1600円	03.10.17	3
1	7 普及版 数の悪魔	エンツェンスベルガー	1600円	00.8.23	9
8	いつものように幕が開き	小沢 昭一	2400円	04.1.30	5
9	日骨董屋の非賣品	勝見 充男	1900円	04.1.20	7
1 10	泣いてくれるなほろほろ鳥よ	小沢 昭一	2400円	03.10.31	19
☆ 11	江戸からおもちゃがやって来た	千葉 惣次	2200円	04.2.27	New
12	2 椅子と日本人のからだ	矢田部 英正	1800円	03.12.26	10
☆ 13	3 なぜか今宵もああ 更けていく	小沢 昭一	2400円	04.3.25	New
14	1 人類最高の発明アルファベット	ジョン・マン	2400円	04.1.29	12
	りせまい路地裏も淡き夢の町	小沢 昭一	2400円	03.11.28	26
1 16	3 慕いつづけたひとの名は	小沢 昭一	2400円	03.12.26	18
1.7	ブック・イン・ピンク	山崎 まどか	1600円	04.1.29	6
18	3 考える練習をしよう	バーンズ	1650円	85.3月	16
1 19	淋しいのはお前だけじゃな	枡野 浩一	1400円	03.12.19	25
	ある人生の門出	ブルックナー	2100円	04.1.9	17

自分の仕事を

西村佳哲图

本体1900円

ISBN 4-7949-6585-0 [b3.9/30画2本]

「働き方研究家」面村さんによる、仕事場報告書。 『13歳のハローワーク』(幻冬舎)の近くで売行きが 目立つ昨月ですが、以下の本のお隣もオススメです! 『アトーキョ・・フリータースタイル』(中央公論新社) 『僕らが働く理由、働かない理由、働けない理由 (稲泉連 著、文藝春秋) 『こうしてボクらはオーナーになった』(世文庫) 『デザインのデザイン』(原研哉著、岩波書店)

## 全8巻堂2克結!分 み以な揃ってBest入り!

つくりもうで入り、 小沢昭一百景

②『せまい路地裏も淡き夢の町』 ③『幕いつづけたひとの名は』 ●『いつものように幕が開き』

⑤『笛にうかれて迸立ちすれば』』
⑥『なぜか尽客もああ更けてゆく』

小沢昭一百景随筆随談柔集

①『土いてくれるな(まろはろ鳥より

全管解說·坪内祐三氏との対談つき

全巻見結後も1号リシアを練っ!

4/12~16 TBSラジオ・小沢昭一的できる」で宣伝! 4月下旬ごろ週刊朝日に 特集記事、掲載写定。か 5月コロンピアレコード出 CÐ 発売 ほか盛り沢山 晶文社図書目録 2004版できました! 別紙FAX注文書にて お申じ込みとだせい

## ● 晶文社 製製 4~5月

芹沢俊介『死のありか』 届文社次刊 ハーディン『死を呼ぶへいレシュロンコンヤリロ 村松伸『象を傾う中古住宅で幕らす法』 ラニアルフェルドマン『大統領ジェファソンの子じもたち』 石田干『月ヒ菓子パン』 ジリース・ レックスター『ある愛書狂の告白』 でまます 辻垣正彦『やっぱり昔ながらの木の家がいい」

第内道彦「風とロック 箭内道彦と2世紀的広告』高見澤をかる『終の住みか』のつくり方』二上達也『林士』 香藤貴明・高橋哲哉『平和と平等をあきらめない』 清田友則『経望論』 いれば 加藤典洋『語りの背景』(仮) 岡山奈弘孝『ムササビに会いたい!』

## 種根いシマダの 神神域の10.79 和の

ラーメンは食べたくなるととれき止められなり、味力に満ちている。どんぶり一杯の優事ながら果かとてつもなく深い。北から南まで数えたことはないが絢爛たる味のバリエーション。その多種多様な中からひとつだけ選べといかれたら大いにはむがそれもまた繁にい。とんこつ、味噌、塩、醤油、またはとして番油…?! 好みはその日の体調とシテュエーションによっても変わるが「これがしたない。 味覚は子ども時代を強く記憶するというからたぶん醤油に慣れ親しんでいたのだろう。経堂にまた名店ができた。今年オープシしたばかりだが名店

と呼ぶっときまったく躊躇しない。

和の限界は3至?と店構え、清潔な店内、明るい店員。そのどれもがいい。 上室カウンターに木の丸椅子13個に対して店員が3名とバランス

がいい。そして出されるラーメンが何よりもいい。 親が、隔骨、煮干し、鰹節に野菜数種のオーソドックスな材料ながら香り、旨みが申しかなく出たスープ。もちろん一滴を残せない。類は餅の食感をのままの丸木直麺。しかも一中華をは、 並」650円で2至。ちなみに1五は130クラムだできった。一度など「中華とは、中」900円を食べている若者を見たか、巨大などんぶりに盛られた3 王の量に圧倒された。「中華とば、大」は750円 4年らいか、まだ食べている人を見たことはない。 大田の客層しかかからないが、若者はもちろん、子連れアペシリー、飲事物たおはさん二人連れない。 多彩。よって「中華とば、小」600円もあり、1五半。 それでも他の店より多い。ラーメンの大盤根据 だ! 具は、もも肉キャーラュー、メンス、カレト、

→ ゆで卵、のり、ネギが丁寧にのせられている。 満足にたき出ると外には椅子が10人分並べられて待ち人多数。並んでいるあいだに注文をとってくれるので並んでからたき出るまで約40分。"東池寝"のようなことはない。そう、ここの店主はあの山岸一雄氏の大勝軒、でラーメン・66業を終えたのである。その名も 〈経堂大勝軒〉。 場所は小田急線、

経堂駅では上き右に出て、ガード沿いに 皮城方向に歩む。達法駐車の自転車を かき分け、おきさんを過ぎてすぐ。② 昼は 11:00~15:00、夜は17:00~20:00。 日曜日は昼のみ。毎月曜休み。もちろんの こと「特製中華もりそば」がある。もりをば は 一立・3至」700円、「中・4五、750 円、「大・5五」800円。中華をはばより1五 ずっ多くなる。付け方がまたいいのだが 残念、紙幅が尽きた。【営業部・島田光久】